

対話型鑑賞の授業例

#	内容	時間	生徒の活動	備考
1	チェックイン	5分間	1) 「何も考えずに、目を閉じて、5回深呼吸」する。 2) 「何も考えない」できた？なぜ？をペアで共有する。 3) クラスルームで共有する。	落ち着く雰囲気作りと、集中することについて考えてみる。
2	対話型鑑賞①	10分間	1) 絵画を1点提示し、1分間1人で鑑賞する。「何が観えますか？」 2) 何が観えたかペア（グループ）で共有する。 3) 同じ絵画を2分間1人で鑑賞する「どこに目が行って、どう感じた？」 4) どこに目が行って、どう感じたかグループで共有する。	練習も兼ねて。何が観えるかについては1人30個書いてみよう！などタスクを与えてもいいかも。グループの雰囲気作りが大事。誰が発表する順番なのか、毎回明確に。ここからワークシートがあってもいいかもしれません。
3	鑑賞会	12分間	1) 15点ほど様々な絵画を提示し、一通りみて回る。 2) 1番好きな絵画とその理由をペアで共有する。 3) 同じ絵画を選んだグループに分ける。	本当は美術館などに出かけていろんな絵画を鑑賞できるといいですね。
4	対話型鑑賞②	16分間	1) 絵画を1分間1人で鑑賞する。「何が観えますか？」 2) 何が観えたかグループで共有する。 3) 同じ絵画を3分間1人で鑑賞する「どこに目が行って、どう感じた？」 4) どこに目が行って、どう感じたかグループで共有する。	本番！自分で選んだということでもちょっと積極的になるかも。ここでは相手の発表に耳を傾ける姿勢がとても大事なので、発表後の拍手はマスト！
5	振り返り	7分間	1) 2回目の対話型鑑賞について、鑑賞した絵と、どこに目が行ってどう感じたか、いくつか教えてください。 2) 1人で鑑賞しているときに感じたことや気づいたこと、考えたことは？ 3) グループで共有してみて、感じたことや気づいたこと、考えたことは？	リフレクションの質問項目です。